

事業所理念	個性を大切にし、夢を抱き、自信を持って、地域・社会で、ともに生きていく力を育てる。		
支援方針	小学生、中学生（特別支援学級、特別支援学校在籍）、高校生（特別支援学校在籍）を対象とした放課後等デイサービスである。 「コミュニケーションスキルを上達させてほしい。」「運動をさせてほしい。」「勉強をさせてほしい。」といった保護者の願いが強いので、日々の活動に織り込んで実施している。 毎日の学習（宿題）はよく見て、分からなければ教えるということを心がけている。		
営業時間	9 時 45 分から	18 時 45 分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	ツインクロスに着いたら、手洗いとうがいをし、検温を必ずして健康状態を把握する。外遊びから帰った後やおやつの前にも、手洗い、うがいは励行。 体重コントロールのため、卓球や散歩などの運動をする。学習道具やおもちゃなどの片づけがしやすいように部屋のレイアウトをする。 身だしなみを整えるように、また、トイレを我慢しないで行くように、声かけをする。	
	運動・感覚	机に着く時は、足べったん、グー1個の姿勢で椅子に座り、集中して学習に取り組むように声かけをする。 聴覚過敏がある子が多いので、学習する場所を選ばせたり、イヤマフを装着せたりする。 外遊びを計画したり、長期休みには、水遊びや凧あげ、ボルダリングなどを計画したりして、運動ができるようにする。	
	認知・行動	時間の見通しが持てるように、終わる前に「あと〇分。」と予告する。 指示は、一度に言わずに1つ出来たら次を言うようにする。 音読がスムーズにできるようになるために、点つなぎなどのビジョントレーニングをする。	
	言語 コミュニケーション	不適切な言葉遣いだったら注意して、なぜいけないか話して聞かせる。優しい言動だったらほめる。 助けてほしいときの言葉が言えなかったら、どうしてほしいか聞きだして、言葉を教える。また、選択肢を書いてそれを選んでもらう方法もとる。 宿題を中心に学習支援をするが、必要ならば、習得していないところの学習プリントも用意して、理解を進める。	
	人間関係 社会性	様々な場面のルールや決まりを、一緒に確認する。 パーソナルスペースを意識して、人との距離は「腕1本」と教え、近かったら間を空けるように伝える。 気持ちが不安定であることが自覚できるような言葉かけをして、気持ちの切り替えができ、次の行動に移ることができたら褒める。「気持ちの温度計」を活用する。	
家族支援	送りの時や支援計画更新の面談のとき、または連絡帳などで、保護者からの困りごとや相談ごとがあったら、相談援助をする。	移行支援	中学校や高校、就職に向けての情報を共有する。また、次の学年についても、情報があれば共有する。OBやOGの体験談を聞く機会を設け、参考にする。
地域支援・地域連携	担当者会議に出席し、情報共有する。また、必要に応じて医療機関と連絡を取ったり、学校の参観日などに行ったりして、情報を得る。地域高校生ボランティアの受け入れをして、地域と連携する。	職員の質の向上	朝と夕にミーティングを行い、行事の打ち合わせや児童について共通理解をする。（記録を残す）ガイドラインや虐待防止などの研修も実施。 一人につき、年1回以上の研修に行き、復伝をする。
主な行事等	プロフィール作り、七夕飾り、夏休みの外出（プール、博物館、動物園、公園、交通センター、体育館など）、ハロウィンパーティ（工作）、クリスマス会（工作）、凧あげ（凧作り）、豆まき、花見、山登りなど。 調理実習（おにぎり、焼き芋、ゼリー、クッキーなど）。 避難訓練（火災、水害、地震、不審者対応など）。		